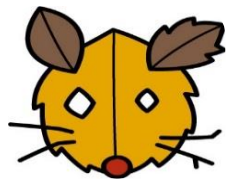




にこにこ10月



8月9月は暑い日が続き子どもたちは毎日水遊びを楽しむことができました☀
最近はだんだん涼しい気候になってきて、本格的な秋の訪れに、外遊びを楽しんでいる子ども達です。長久保公園の葉っぱも黄色や赤色など色が変わってきて秋らしくなってきました。健康には気をつけて10月も元気いっぱいお外で遊びたいと思います！！



言葉について



2歳児になると言葉の数が増え「なに?」「どうして?」と質問することも増え、色々な名前や物に興味を持つようになります。そして自分で考える、自分で決めるといった力もついてくるので、子どもが自分で決めて行動できるような言葉掛けを心掛けています。例えば、「おもちゃここにお片付けだよ」ではなく「このおもちゃどうすればいいかな?どこにお片付けする?」と、一度自分で考えるような言葉を掛けています。この時「まだ遊びたい」という子もいます。そのような時は「まだ遊びたかったね」とその時の気持ちを一度受け止めます。その上で「次何するんだっけ」「お片付けして終わったらおいで」などと自分で終わりを決められたり自分で次に何をするのか考えて行動するようにします。大人が全て決めて指示を出すのではなく子どもが自分で考えて行動するといった子どもが主体となり活動できるような声掛けをしています。

0歳児1歳児は言葉の獲得に大切な年齢です。そしてたくさん対話をしていくことがとても重要です。この時期に受けた言葉の量や質が将来まで左右するので、毎日一緒にいる大人の関わりはとても大切になってきます。まだ話せない子であっても、一方的に話さず相手が今どんな気持ちなのかどんなことを考えているのかくみ取りながら対話するよう心掛けています。嬉しいこと楽しいこと悲しいことがあれば気持ちを代弁し共感します。話す時には目を見てゆっくりはっきり話します。子どもは大人の話や耳で聞いているのと同時に口の動かし方もじーっとみてどう動いているかなとよく観察しているので、真似をして口を動かしたり、一生懸命その言葉を言おうと頑張ります。リンゴを指差しながら「ごっ」という子に対してまずは「リンゴだね」とその言葉を正しく正確に伝えます。「わんわん」「にゃーにゃー」と言う子に対しても「犬だね」「猫だね」と正しい言葉を知らせています。一つ一つ丁寧に応えていくことは子ども達がたくさんお話しをするようになるまでの大切な過程です。簡単な言葉の繰り返しや模倣を通し子どもの表情や身ぶりなどやり取りの中で発語を促しています。「楽しい」や「嬉しい」と言ったり、伝える時は笑顔で伝えます。笑顔で伝えることで「楽しい」「嬉しい」という言葉は笑顔につながるなど場面に合った言葉を覚えることで言葉の理解が深まります。

言葉を覚えた子どもたちは、生活の中で会話する姿がどんどん増えてきています！
「貸して」「どうぞ」と簡単な言葉でのやり取りから「一緒に粘土しよう」「ご飯作ろう」など、2語文・3語文を使って遊びに誘ったりしています。泣いて自分の気持ちを伝えていた子たちも「やだ」「こっちがいい」と言葉で伝えられるようになってきました。お話するのが楽しい二歳児の子どもたちは朝来ると「今日はママと来たよ」や「今日はパン食べたよ」と大人に伝えてくれます。大人は「ママと何できたの?自転車?」などさらに会話が広がるような質問をたくさんしています。ぱんだ組のお部屋は子どもたちの声で毎日とってもにぎやかです☆

